

## 第4回俳句賞「25」奨励賞受賞「小舟」 受賞コメント

野城知里さん

この度は私たちの作品「小舟」を読んでもくださりありがとうございました。私たちは高校1年の4月から一緒に活動してきて、共に何かを作り上げるといことはこれで本当に最後になります。その節目を審査員の皆様に鑑賞していただいたということを心に留めて、より一層短詩というものを楽しんでいく所存です。

一編の連作を複数人で編むということは、1人で編むそれよりも遥かに難しく感じました。顔を合わせる機会も失われながらの創作で、何度も座礁しかけてましたが、都度優しく逞しいチームメイトに背を押されてこうして喜び合うことができています。

詠み手と読み手がいてはじめて成立する俳句というものに対してその両方の立場を体験させてくださった実行委員会の皆様をはじめとして、審査員の皆様、ここまで私たちを支えてくださった先生方、そして大好きなチームメイト3人と、部活動の時間を一緒に過ごした同志たちに心から感謝いたします。

磯部美咲さん

俳句賞「25」への参加は今回で二回目となったのですが、前回に比べて楽しんで参加できました。仲間との打ち合わせができないからこそそのどんな句がそろうのかというわくわくや、顔を合わせたことのない同志の俳句を鑑賞することの嬉しさを味わうことができました。

また、コロナ禍の状況下でも俳句のおかげで生活を楽しむことができましたし、これからも俳句を続けたい、という想いをこの大会を通して新たに感じることができました。このような貴重な機会を提供していただいたことに感謝を述べさせていただくと共に、皆様とまた俳句によってご縁を紡ぐことができるように一層精進してゆきたいです。

### 小久保羽琉さん

第4回俳句賞「25」において私たちの「小舟」が奨励賞を受賞できたこと大変嬉しく思います。今年は情勢や受験などでチームみんなが集まることができず、慌ただしい時期が重なることもあり、チームメイトに負担をかけさせてしまうことも多々ありました。それでも無事完成し、受賞することができたのは、3年間一緒に活動してきた仲間との信頼関係が築けていたからだと思います。俳句賞「25」のように複数人でなにかの作品を作り上げることは難しいですが、大変貴重な経験になりました。このような機会を頂けたことに感謝いたします。そして3年間共に活動してきた3人、支えてくださった先生方、見守ってくださった先輩、ついて来てくれた後輩のみんな、私に最高の3年間を有難う御座いました。

### 高木里緒さん

この度は俳句賞「25」において、私たちの作品「小舟」が奨励賞を受賞でき、誠に嬉しく思います。チームで創作する俳句は個人で行う創作よりもやりがいを感じ、作品が完成したときの喜びはひとしおになると思っています。この不安定な社会の中だからこそ、俳句をつくるというきっかけを得て人との繋がりを保つことができたように感じます。また、改めて言葉の力の素晴らしさに気がつかされました。このようにとても貴重な機会をいただけたことに感謝申し上げます。加えて、共に活動をしてくれた3人、支えてくださった先生方や後輩たち、本当にありがとうございました。